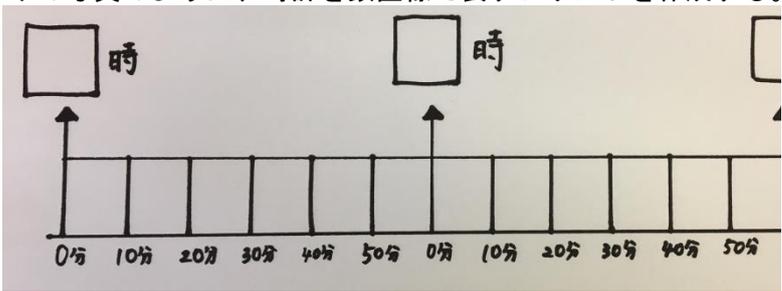
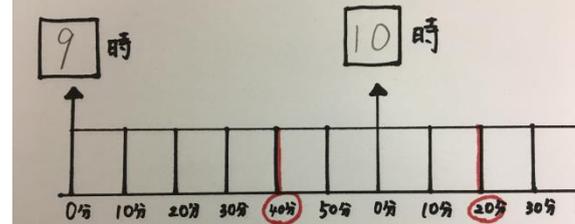


大項目	時計
小項目	時間の計算
タイトル (教材名)	何分間かな？
目的 身につけてほしい力	10分単位の時間の計算ができる。 「9時〇分～10時△分」の「時」が変化する時間の計算ができる。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>下の写真のように、時計を数直線で表すプリントを作成する。</p> 
教材の使用方法 (提示の仕方)	<p>問題例 「家を9時40分に出発し、歩いて駅へ向かいました。駅に到着した時間は10時20分です。家から駅まで何分間かかりましたか？」</p> <p>使用の仕方 ①問題に出てきた「9時40分」、「10時20分」の時刻の「時」を口書きで書き込み、下の数字の「分」に○をつけて時間の経過を明確にする。</p>  <p>②「分」で印をつけた時間の間の目盛りに色をぬる。もしくは、カードを作成して該当する目盛りに置いていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>1マス=10分 問題では、4マスあるため、 4マス×10分=40分間</p> </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>↓もしくは カードの数字をたしざんする。 10+10+10+10=40分</p> </div>
その他	参考文献「発達障害のある子が育つ150の学習課題&学び術 2016」 (添島康夫、明治図書出版、2014)